

空き家対策の条例 制定や撤去費用の 補助を検討しては

日本共産党 松本 春男

問 全国で空き家や管理されていらない住宅が増えてい。放置された空き家は、倒壊や犯罪の誘発など周囲への悪影響が危惧されるため、問題を重視している自治体は、条例を制定し撤去の整備を進めている。条例に必要な要件が明記されていれば、国からの補助が受けられる制度もあるが本市の考えは。さらに、空き家が放置されている背景とし

て、解体後に税金が増えてしまう税制の問題が大きいと国も認めている。加えて、解体費用は約200万円掛かり、費用負担も大きい。所有者が解体に応じやすくなるよう、費用の一部を助成しないか。

答 平成25年の総務省調査によると、本市では、全体の7・7%が空き家であると試算されたが、賃貸や売却により空いている住宅なども含まれており、適切に管理されていない空き家の正確な数は把握できていない。現在、青パトの巡回や自治会の情報を基に状況把握に努める一方、火災予防や道路の安全を確保するための指導も行っている。本市のみでは解決が難しい問題もあるため、国の法制化の動きも注視していきたい。まずは、空き家の状況把握に努めるため、現段階では、老朽化した危険な空き家に対する解体費用の助成は考えていない。(ほかに「耕作放棄地対策」「雨水対策」「基地対策」を質問)

深谷落合まちづくりは新東 名計画も見据えるべきでは

二見 昇

問 新東名高速道路の整備が県内の近隣自治体まで進展している。本市より西にある自治体の状況は。新時代あやせプラン21前期基本計画では、新東名を構想の基軸としていたが、後期基本計画では削除されている。新東名の計画がある以上、明記すべきと考えるがど

うか。また、深谷落合のまちづくりを先に進め、完了した後新東名のルートが同地域にかかった場合、再び開発することは整備費などが無駄になるため絶対にあつてはならない。長期にわたる計画は先を見据えたものでなければならぬが、どう考えているか。

答 現在整備が進められている海老名市から西の自治体では、平成32年の開通に向けて

児童虐待問題は継続支援と 新計画への明記が必要では

森藤 紀子

問 5月に発覚した厚木市の幼児死体遺棄事件は、市や教育委員会が関わっていたにもかかわらず、救うことができなかった。これを受け同市では、要保護児童対策地域協議会との連携強化を図り、要保護児童を台帳に登録し、継続的に見守っていく仕組みを再確認しているが、本市でも

同様の取り組みをしているのか。また、現在策定中の(仮称)綾瀬市子ども・子育て支援事業計画には、要保護児童対策地域協議会の位置付けが明確でない。今後も虐待を受ける児童の数は増加が見込まれるため、現在の仕組みを継続すべきと思うがどうか。

答 継続的な支援が必要となる要保護児童は、要保護児童対策地域協議会で検討の上

決定し、進行政管理台帳に登録後、児童ごとにケースファイルに分けて子育て相談員が管理している。また、現在策定準備を進めている事業計画でも、児童虐待に対する取り組みを積極的に推進するため、関係機関との連携、相談機能の強化、発生予防、早期発見、対応、社会的養護施設との連携などの事項を子ども・子育て会議で審議いただき計画に盛り込んでいく。今後もネットワークの力を活用して、虐待を未然に防止するための施策を推進していきたい。

委員会の行政視察

委員会では、優れた施策を市政に反映させるため、先進地などを視察して、特定事項について情報を収集し、専門的知識を深めています。視察内容の詳細は、議会事務局で閲覧できます。

●総務教育常任委員会

- 視察日程・10月15日～16日
- 【大阪府和泉市】
- ▽小中一貫教育について
- 【大阪府岸和田市】
- ▽カフェテリア方式の職員研修について
- ▽人材育成型人事考課制度について

●経済建設常任委員会

- 視察日程・10月21日～22日
- 【愛知県豊田市】
- ▽上下水道局業務継続計画について
- ▽水の安全・安心基盤整備について
- 【愛知県瀬戸市】
- ▽都市防災総合推進事業について

●市民福祉常任委員会

- 視察日程・10月23日～24日
- 【滋賀県湖南市】
- ▽発達支援システムについて
- 【滋賀県草津市】
- ▽聴覚障害者のサービスについて
- ▽介護の準備応援ブックについて



市公式マスコットキャラクター「あやびい」

農商工が連携した 産業振興策にどう 取り組んでいくか

新政会

青柳 慎

問 4月の消費税増税後、燃料費や原材料費の高騰により、食料品をはじめとするさまざまな物価の上昇が続く。実態経済は大変厳しい。市内事業所の一層の努力を期待するところであるが、農商工が連携した産業振興策の取り組み状況は。平成9年の消費税増税後には、市内消費拡大促進支援策として、商工会が発行したプレミアム商品券の一

部を補助したが、今回も検討しないか。また、本市は、政令市を除くと工業企業集積数が県内第1位である。市長は、市全体を綾瀬工場に見立てていると述べている。中小企業に対する工業支援策はどうか。

答 昨年度、市内の農商工業者が集い、第一回「あやせ産業まつり」を開催した。また、4月から12月に開催される朝市でも農商業者の交流がある。今後も、商工会やJAさがみと連携を図り取り組みを進めたい。商品券は、市内商業の活性化に有益な事業であったと認識している。今後、市内景気や国の動向などを注視し、商工会や業者とともに検討したい。また、本市は、企業集積数を最大限活用した、地域を支えるものづくりネットワーク都市を目指している。工業活性化コーディネート事業をはじめとする支援策を今後も継続していきたい。



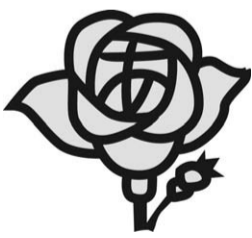
湖南市役所にて



豊田市役所にて



岸和田市役所にて



市の花 ばら